

「学校と地域で考える地震と防災」

主 催： 北淡活断層シンポジウム実行委員会(委員長:千田 昇, 事務局幹事:加藤茂弘)
共 催： 淡路市・淡路市教育委員会, 活断層研究会, 産業技術総合研究所・活断層研究センター,
兵庫県立人と自然の博物館(予定)・活断層学会設立発起人会
後 援： 兵庫県・兵庫県教育委員会, 東京大学地震研究所, 株式会社ほくだん(予定)

1. 開催場所 兵庫県淡路市小倉・北淡震災記念公園セミナーハウス
2. 日 時 2007年1月13日(土)午後1時～1月14日(日)午後3時頃まで
3. 宿泊場所 北淡自然休養村センター(小型バス送迎)・周辺の民宿(徒歩)

4. 旅 費 等

招待講演者に支給。一般聴講者は原則自費。一般ポスター発表者は原則自費ですが、事務局幹事まで電子メールにて問い合わせください。(院生・学生研究者など若手研究者を中心に対応します)

5. 一般ポスター発表者の公募期限

12月25日(月)まで

⇒兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛に申し込み。発表要旨は申し込みと同時に送付ください。

6. 参加希望者

12月25日(月)までに申し込むこと ⇒兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛

7. 予稿集の締切

期限は12月25日(月), 写真製版用の原稿は郵送にて, Wordもしくはpdf形式の原稿は電子メールにて, とともに下記の加藤茂弘宛に送ること。

◎ポスター発表者・参加希望者申し込み・予稿集送付先:

兵庫県立人と自然の博物館・加藤茂弘宛(発表と参加申込はメール・Faxにてお願いします)

〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6

電話:079-559-2017, Fax:079-559-2017

E-mail:katochan@hitohaku.jp

8. 予稿集の書式等

予稿集原稿はA4サイズで2頁または4頁, 第四紀学会予稿集に準拠(上余白30mm, 下余白35mm, 左右余白25mm, タイトルの前15mm余白, タイトル(コチ), 氏名(所属), 英文タイトル. 本文は1行漢字35文字, 1頁36行を目安とします。

第四紀学会の様式がおわかりにならない方は, 原稿をWordで作成してメールで, 図版はおよその割付を指定して加藤茂弘宛に送付頂ければ, 事務局で第四紀学会予稿集に準拠して作成します。その時には1ページあたり1行35文字×36行を目安に作成してください。

図版は原図に限らず, 鮮明なコピーを送付して頂くか, pdfもしくはj-pngファイルで保存したフロッピーないしCD-ROMを送付ください。また, 2Mb未満のデジタル図版であれば, メールにて送付頂くことも可能です。それ以上のファイルは上記の媒体にて加藤茂弘宛に送付ください。

活断層シンポジウム 2007 予定 (演題・講演者は変更になる場合もあります)

第1日:2007年1月13日(土) 午後1時~午後3時20分

1. シンポジウム講演「学校と地域で考える地震と防災」

1995年阪神・淡路大震災の甚大な被害は、活断層地震に対する日ごろの取り組みが重要なことを、多くの市民に認識させました。さらに20世紀前半での発生が確実視される東海地震や南海地震への関心が高まる中、それらに対する防災・減災への努力も、各地で続けられています。こうした活動について、身近な学校と地域での取り組み事例と課題を取り上げ、より効果的な地震教育、防災教育を考えます。

司会進行:千田 昇(実行委員長・大分大学)

挨拶:門 康彦(淡路市長) 1:00~1:10

講演1:学校や地域の地震・防災教育をアシストする博物館活動 1:10~1:35

先山 徹(兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館)

講演2:震災11年を経過して見えてきたもの 1:35~2:00

五百蔵 聡(淡路市立富島小学校)

講演3:地域と協力した淡路高校の防災教育 2:00~2:25

森 康成(兵庫県立淡路高校)

(休憩 10分)

講演4:学校と地域をむすぶ環境防災科の活動 2:35~3:00

西川安國・池原彩乃(兵庫県立舞子高校環境防災科3年生)

北野真也・楨野翔太・因幡 顕(兵庫県立舞子高校環境防災科2年生)

講演5:淡路地域における地震防災の取り組み 3:00~3:25

大村敏郎(兵庫県淡路県民局企画調整部 防災担当参事)

質疑・応答(15分)

(休憩 10分)

2. パネル・ディスカッション「学校と地域で地震・防災教育をどう進めるか」 3:50~5:00

司会進行:加藤茂弘(兵庫県立人と自然の博物館)

パネリスト:森 康成(兵庫県立淡路高校), 五百蔵 聡(淡路市立富島小学校), 大村敏郎(兵庫県淡路県民局企画調整部), 鈴木康弘(名古屋大学地震火山・防災研究センター), 伊藤宏幸(淡路市教育委員会), 桂 雄三(文化庁文化財部記念物課)

・ポスターセッションのポスター設置 5:00~6:00

ポスター掲示場所は、1つのポスター当り、縦90cm×横180cm、もしくは縦180cm×横90cmのスペースです。

・懇親会(レストラン「さくら」にて、希望者のみ。参加費3,000円) 6:00~8:00

・宿泊地へ移動(自然休養村・その他の民宿) 8:00~

■ セミナーハウスでのポスターセッション展示

初日午後1時~2日目午後1時(13:00以降に撤収。希望者のみ)。ポスター掲示は初日の午後1時までと、その午後5時~6時までの間に掲示作業をお願いします。

寄贈されるポスターは、セミナーハウスロビーにて約1ヶ月掲示し、野島断層保存館に保管されます。

第2日:2007年1月14日(日)午前9時～午後1時頃

1. Poster 展示 8:40～9:30(展示会場にての説明・討論等)

活断層や地震・津波等に関係することなら、どのような課題でも応募して下さい。活断層や地震・津波等に関係することなら、どのような課題でも応募して下さい。初日の午後1時～2日目の午後1時頃まで展示(第2日の13:00以降に希望者のみ撤収)。

寄贈されたPosterは、セミナーハウスロビーにて1ヶ月ほど展示します。

2. 東京大学地震研究所 研究集会「地震・津波研究の最前線」(共催:北淡活断層シンポジウム実行委員会)

これらの課題について第1報で公募し、意見や研究課題・候補者名をお寄せ戴きました。それらは、パキスタン地震、インドネシア地震・津波(アンダマン諸島)、南海地震についての津波の話(大分県の池で行われた音波探査・ボーリング調査)、原発サイト周辺の活断層調査、大都市の活断層と高層建築物等でしたので、以下の講演を企画しました。以下に講演題目・後援者氏名・時間配分を示しますが、これらは多少変更する可能性があります。

- 講演6:九州東岸における宝永・安政南海地震による津波記録 9:30～9:50
千田 昇(大分大学・教育福祉科学部)
- 講演7:津波堆積物から見た巨大型南海地震の繰り返し間隔 9:50～10:10
松岡裕美, 岡村 眞(高知大理学部), 千田 昇(大分大教育福祉科学部), 島崎邦彦(東大地震研)
- 講演8:三陸海岸で発生した過去数千年間の巨大地震と地殻変動 10:10～10:30
原口 強・ほか(大阪市立大学理学部)
- 講演9:IKONOSとQuickBirdのステレオ計測によるアンダマン諸島の海岸隆起の測量 10:30～10:50
石黒聡士(名大環境学研究科・院), 杉村俊郎(RESTEC), 鈴木康弘(名古屋大学)
- 講演10:2004年スマトラ-アンダマン地震に伴うインド-アンダマン諸島における地震性地殻変動について 10:50～11:10
越後智雄(GRI), 池田安隆(東大), 茅根創(東大), 宍倉正展(産総研), 佐竹健治(産総研), 鎌滝孝信(応用地質), Javed N. Malik (IIT), ShaikhR. Basir(GSI), Gautam K. Chakraborty (GSI), Ashish K. Ghosh Roy(GSI)
- (休憩10分)
- 講演11:2005年パキスタン・カシミール地震の地表地震断層とその意味 11:20～11:50
金田平太郎・ほか(産業技術総合研究所・活断層研究センター)
- 講演12:原発サイト付近の活断層と問題点 11:50～12:20
中田 高(広島工業大学)
- 講演13:大都市圏の活断層に沿った土地利用(高層建造物など)の問題点 12:20～12:40
岡田篤正(立命館大学 COE 推進機構・歴史都市防災研究センター)
- 質疑・応答(15～20分)

■その他:注意事項

◎1月13日(土)のお昼には北淡震災記念公園のレストランが混雑して、昼食に時間がかかることが予想されます。必要な方には、実行委員会で昼食を予約(¥1000-実費)します。昼食の予約が必要かどうかについても、宿泊の希望と合わせて申込み時にご連絡下さい。

◎懇親会・宿泊の希望者は上記の申し込みと同時にお知らせ下さい。また、若手研究者・院生・学生などで旅費の希望者も申し込みと共にお知らせ下さい。